ワンセグチューナ

DTV01

取付説明書

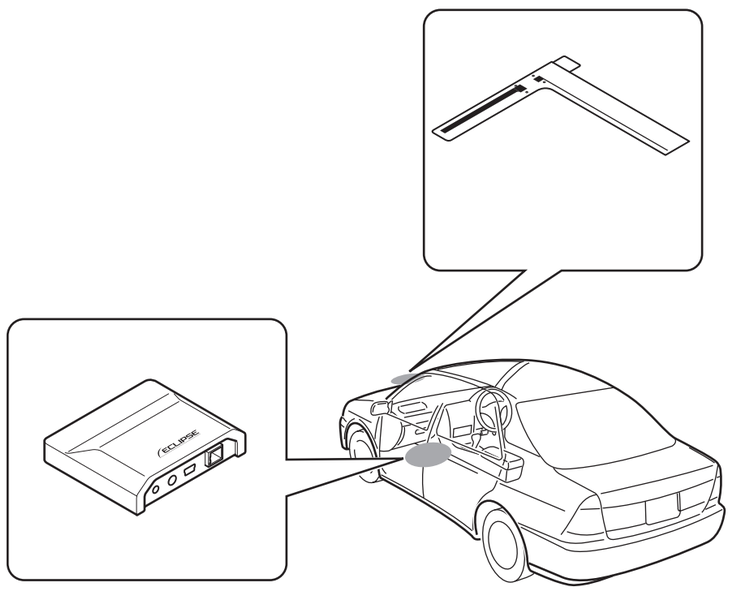
090003-31970700

お客さまへのお願い

●取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
●指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
●本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
●安全運転のため、ご使用の前に**「取扱説明書」**、**「取付説明書」**をよくお読みうえ、正しくお使いください。
●**「取扱説明書」**、**「取付説明書」**をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ー販売店様へー
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図



FUJITSU TEN

090003-31970700

●構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●本体関係

❶ワンセグチューナ ×1	❷電源コード ×1	❸映像／音声コード ×1
❹リモコン受光コード ×1	❺リモコン ×1	❻バンドクランプ ×3
❼ハーネス固定テープ ×2	❽ショートコネクタ ×2	❾クランパー ×5
❿両面テープ ×1		

●フィルムアンテナ関係

⓫フィルムアンテナ ×1	⓬アンテナコード ×1	⓭クリーナ ×1

※その他の構成部品（取扱説明書、取付説明書、保証書などの資料類）

●作業の前に

●取り付ける前に構成部品をご確認ください。
●取り付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
●ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。
●別売の外部機器を接続する場合には、必ず指定品をお使いのうえ、各機器の取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

●作業の進め方

1）バッテリーの⊖端子を外す
2）接続を確認する　（☞システム接続例）
3）フィルムアンテナを取り付ける　（☞取付と配線）
4）配線する
5）ワンセグチューナを取り付ける
6）バッテリーの⊖端子を元に戻す

●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意
この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗：しなければならないことを表しています。
🚫：してはいけないことを表しています。
⚠：注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス　この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠警告

❗**本機はDC12V⊖アース車専用です。**
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしないでください。火災の原因となります。

❗**取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。**
プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

🚫**本機を次のような場所には取り付けないでください。**
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。

⚠**車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。**
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行ってください。火災の原因となります。

❗**ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。**
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

🚫**車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。**
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

🚫**本機を分解したり、改造しないでください。**
事故、火災、感電の原因となります。

❗**ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

🚫**画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

❗**万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

🚫**エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。**
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。

🚫**電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。**
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

❗**接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。**
ショートにより火災、感電の原因となります。

⚠警告

❗**コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

❗**取付説明書で指定された通りに接続してください。**
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

⚠注意

❗**本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。**
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

❗**必ず付属の部品を指定通り使用してください。**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

🚫**雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。**
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

🚫**しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。**
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

🚫**直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。**
金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

⚠**車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

❗**コードが金属部に触れないように配線してください。**
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

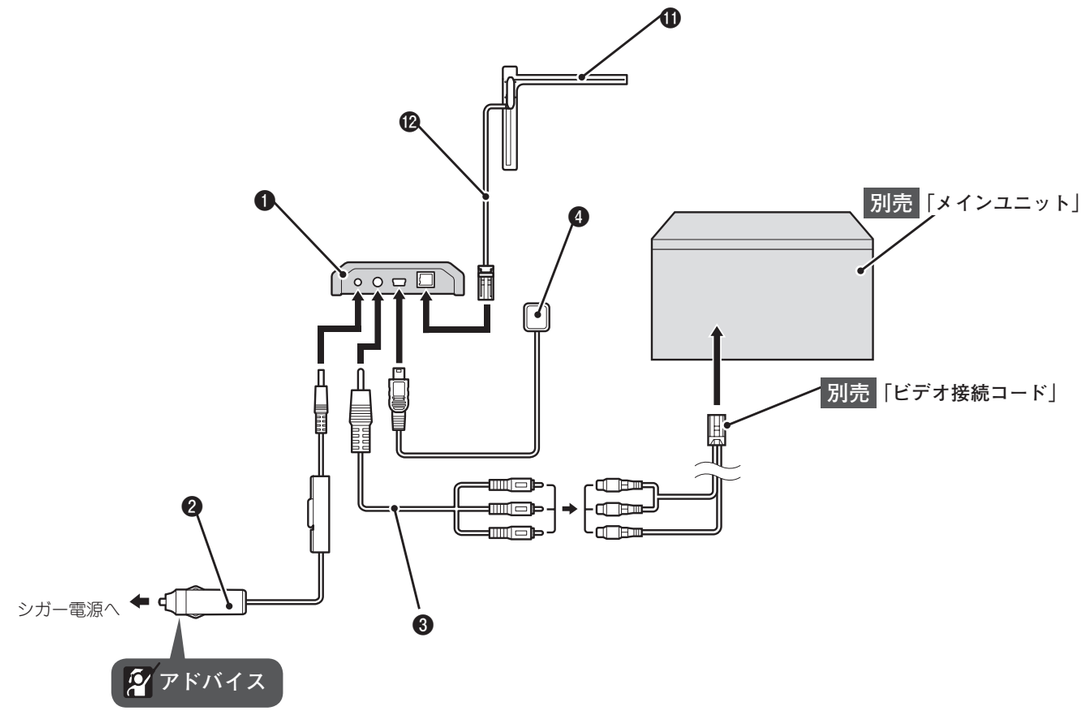
❗**コードの配線は、高温部を避けて行ってください。**
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

🚫**電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。**
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。

🚫**本機を車載用として以外は使用しないでください。**
感電や怪我の原因となることがあります。

●システム接続例

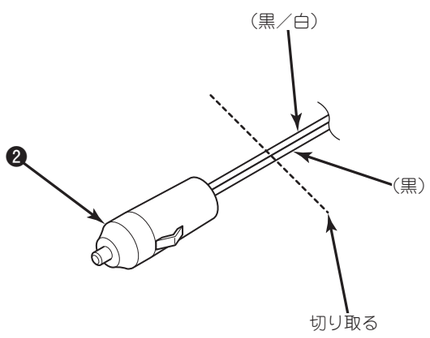
接続する機器の取付説明書を確認して取り付けおよび配線を行ってからメインユニットに接続してください。



アドバイス

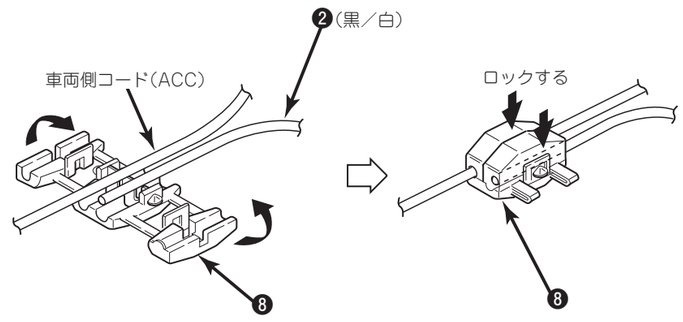
■ ショートコネクタで電源を取得する場合

① 電源コード❷のシガープラグ付近をニッパーなどで切断する。

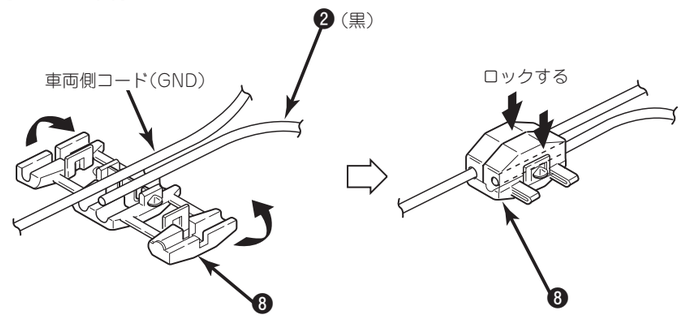


② 電源コード❷と車のコードをショートコネクタに挿入する。
③ ショートコネクタのふたをかぶせプライヤやペンチ等でロックがかかるまではさみ込む。

● ACCの取得



● GNDの取得



取付と配線

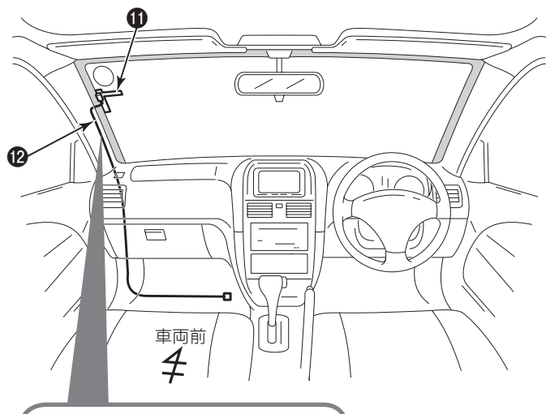
アドバイス

- フィルムアンテナは、車載テレビシステム専用です。それ以外の用途には、使用できません。
- フィルムアンテナは、繊細な構造になっています。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重にお取り扱いください。
- フィルムアンテナ及びコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性液体を使用して拭かないでください。
- フィルムアンテナは、必ずフロントガラス上部の指定された位置・寸法内に貼り付けてください。指定の場所以外へは、性能を確保できませんので貼り付けないでください。
- フィルムアンテナを車のボディ、ピラー等の金属部に近づけて貼り付けると受信感度が低下する場合があります。
- フィルムアンテナは、指定通りの貼り付けで性能が確保できるようになっています。左右逆に貼り付けると性能が低下する場合があります。
  左ハンドル車でもフィルムアンテナ(左)（右)の貼り付け位置は変わりません。
- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しができません。貼付位置を十分に確認して作業を行ってください。
- フィルムアンテナは、貼付位置の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから貼り付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)時は、フィルムアンテナの粘着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウインドウを温めてから貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、一部の地域において、テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。また、一部の車両において、フロントガラスの材質・表面処理等により、受信感度が低下する場合があります。
- フロントガラスに「金属を蒸着メッキした熱反射ガラス」を採用した車種は、熱線だけでなく電波も反射するためフィルムアンテナの取り付けはできません。
- フィルムアンテナはワイパー動作やエアコン用モーターなどから出るノイズにより、映像・音声に乱れが生じる場合がありますが故障ではありません。

フィルムアンテナ取付配線概要図

取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。

⚠お車のフロントガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。

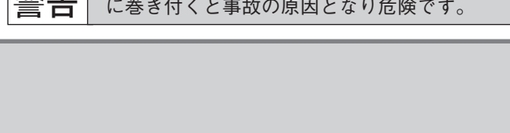


コード配線時は、内装トリムを取り外します。

取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。(作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります。)

アドバイス

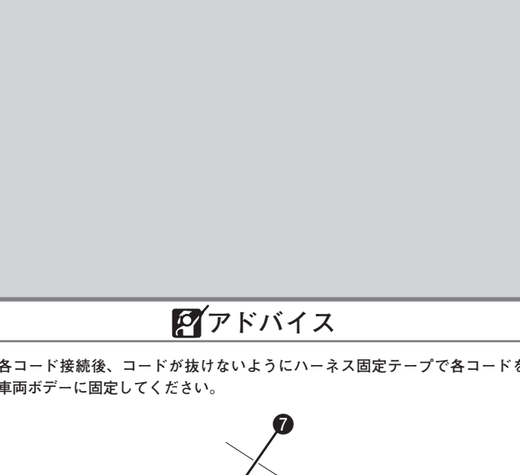
- カバーを取り外す際、コードを引っ張らずに、給電部を引っ張ってカバーを取り外してください。



⚠給電部の金属部分を引っかけて変形させないように気をつけて作業をおこなってください。

アドバイス

- アンテナコードは車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、ハーネス固定テープをエッジ部分に貼り付けてください。



警告

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等で束ねて固定してください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

アドバイス

- 各コード接続後、コードが抜けないようにハーネス固定テープで各コードを車両ボデーに固定してください。

1 フィルムアンテナの貼付位置を決める

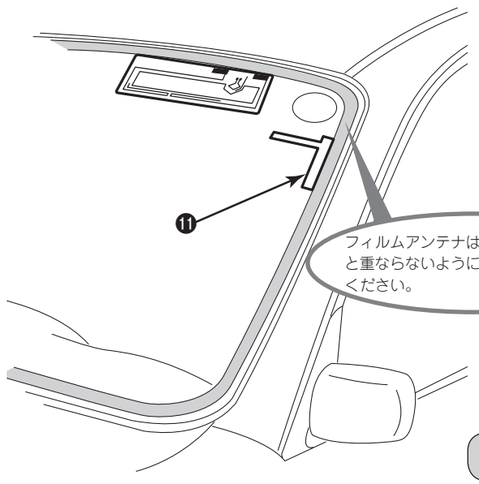
① フィルムアンテナのⒶ部を車両の黒セララインまたは黒セラドットパターンの端に合わせる。

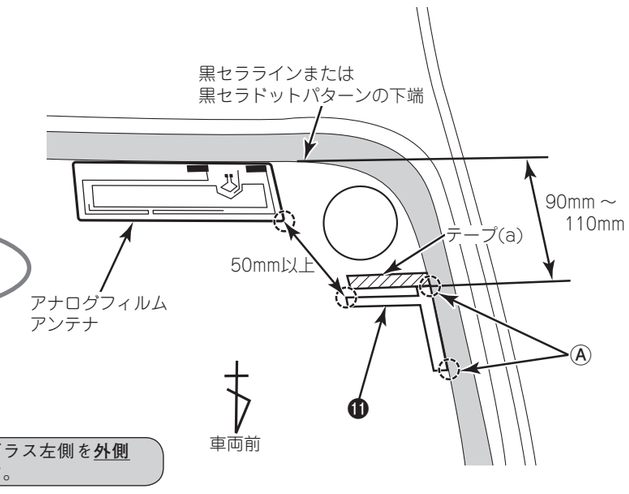
- フィルムアンテナのセパレータおよびフィルムシートをはがさないでください。

※黒セラ　：黒色セラミックラインの略。
　フロントガラス端の黒い色部分。
※黒セラドット：黒色セラミックドットパターンの略。
　フロントガラス端の黒色のドット部分。

② フィルムアンテナの左右方向をテープ等でマーキングする。

- 黒セララインまたは黒セラドットパターンの下端から90mm ～ 110mmの位置にマーキングしてください。
- アナログフィルムアンテナを貼っている場合は、電波干渉を避けるためアナログフィルムアンテナとフィルムアンテナを50ｍｍ以上離して貼り付けることを推奨します。
- テープはフロントガラスに跡形が残らないもの(ピニールテープ等)を使用してください。





車両フロントガラス左側を外側から見た図です。

2 フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける

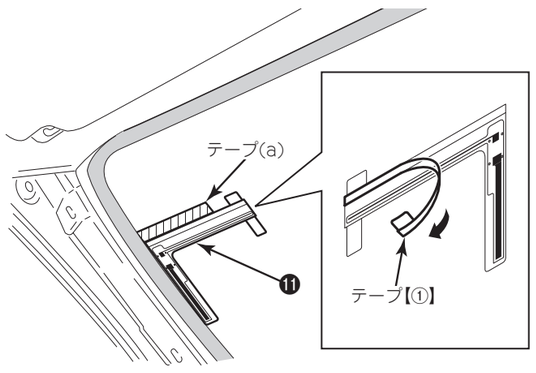
① テープ【①】をはがしてガラス面に仮固定する。

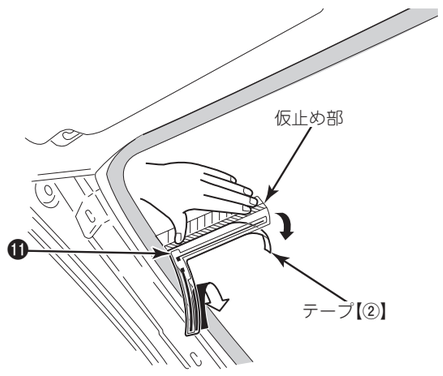
② テープ【②】をはがしてガラス面に貼り付ける。

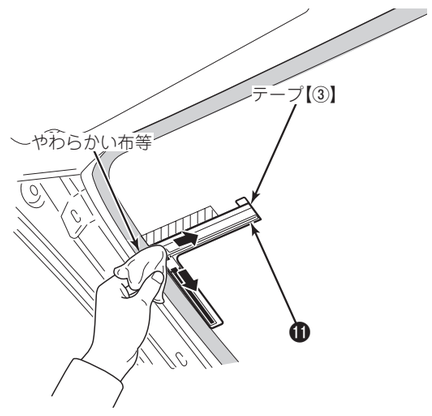
③ やわらかい布等でフロントフィルムアンテナをガラス面に圧着する。

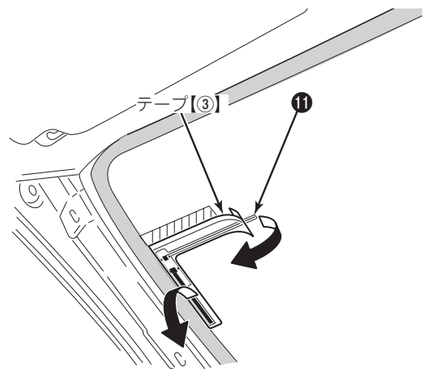
- フィルムエレメントに沿って数回～数十回程度圧着してください。
- ヘラやスキージ等を使用しないでください。

④ ピックアップ側のテープ【③】をはがす。









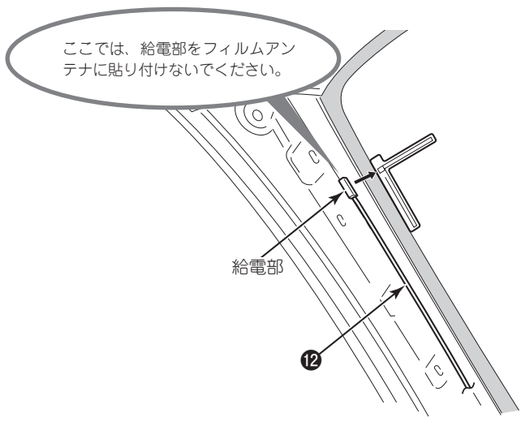
3 アンテナコードの長さを調整し、配線する

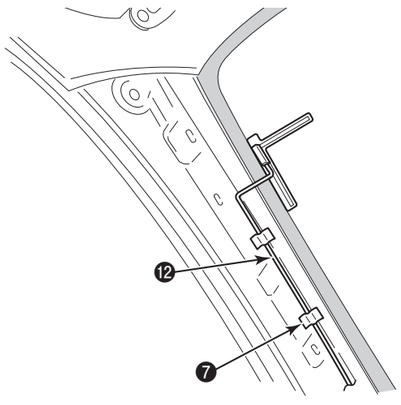
① アンテナコード給電部をフィルムアンテナの端子ベース位置に合わせアンテナコードの長さを調整する。

② アンテナコードをハーネス固定テープで固定しながら配線する。

- ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。以降も同様に行ってください。
- ハーネス固定テープは、車両クリップ穴や、ネジ穴等をふさがないように貼り付けてください。

③ アンテナコードをハーネス固定テープで固定しながらワンセグチューナ取付位置まで配線する。



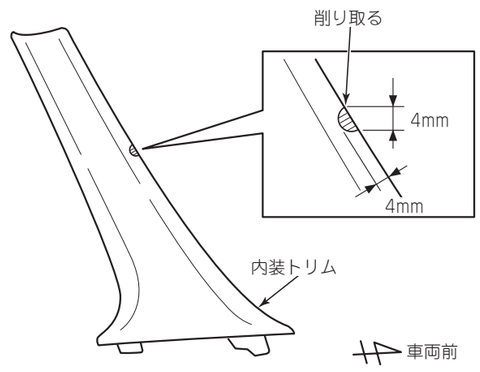


4 内装トリムを加工する

① 取り外した内装トリムを車両に仮組みして、アンテナコードと干渉するところを確認してください。

② 内装トリムのアンテナコードと干渉するところを削りとってください。

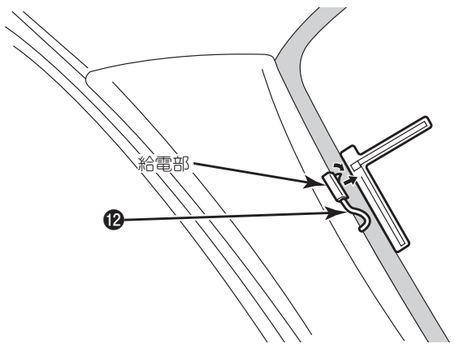
- 内装トリムの一部を削り取った後、切り粉を取り除き削り取った箇所のバリをヤスリ等で取り除いてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。



5 アンテナコードの給電部をフィルムアンテナの端子ベースに貼り付ける

① アンテナコード給電部をフィルムアンテナの端子ベースに貼り付ける。

- 給電部はフィルムアンテナが完全に乾いていることを確認してから貼り付けてください。乾く前に貼り付けるとはがれる場合があります。
- アンテナコード給電部はフィルムアンテナの端子ベース全体に貼り付けてください。

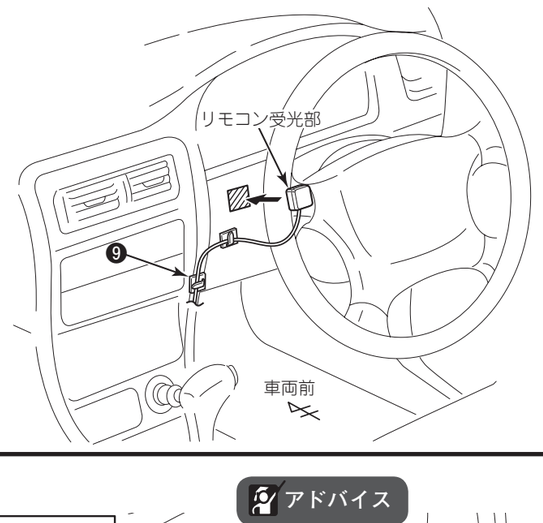


6 リモコン受光部を取り付け、配線する

① リモコン受光部をインパネ付近に貼り付ける。

- 両面テープを貼り付ける部分の汚れ、水分、油分等をきれいにふき取る。
- 貼り付けた後は、確実に密着するよう本体を十分押し付けてください。
- 本体には、ドライヤー等を使用しないでください。

② リモコン受光コードをクランパーなどで固定しながらワンセグチューナ取付位置まで配線する。



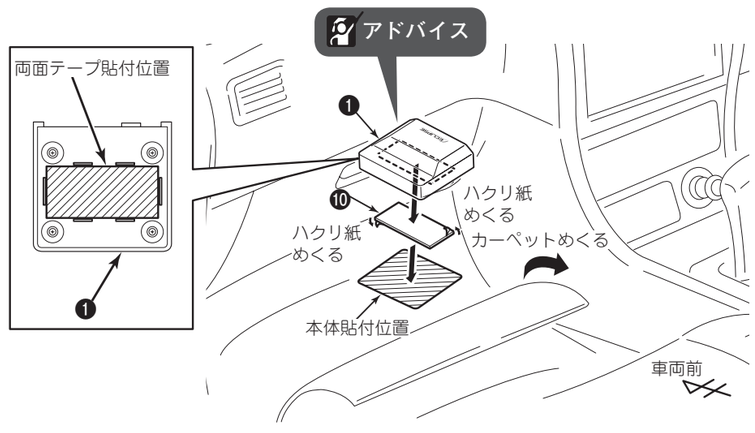
7 ワンセグチューナを取り付ける

① ワンセグチューナ裏面に両面テープを貼り付ける。

- 両面テープを貼り付ける部分の汚れ、水分、油分等をきれいにふき取る。
- 貼り付けた後は、確実に密着するよう本体を十分押し付けてください。
- 本体には、ドライヤー等を使用しないでください。

② カーペットをめくり車両ボデーの平らな場所にワンセグチューナの貼付位置を決め、貼り付ける。

- 両面テープを貼り付ける部分の汚れ、水分、油分等をきれいにふき取る。
- 貼り付けた後は、確実に密着するよう本体を十分押し付けてください。
- 本体には、ドライヤー等を使用しないでください。



090003-31970700
1008（CN）